

## 第624回

# 九州朝日放送番組審議会議事録

—— 2020年7月度 ——

- ◇ 開催日  
2020年7月20日(月)
- ◇ 議題  
＜ラジオ番組＞「めぐみのラジオ」  
放送日：6月6日（土）放送分
- ◇ その他

九州朝日放送株式会社

## 第624回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2020年7月20日(月)午後3時30分～4時55分

2. 開催場所 九州朝日放送 7階A会議室

今回は「新型コロナウイルス」感染防止（三密回避）の観点から、十分にソーシャル・ディスタンスを確保するため通常より広い会議室にて開催した。

### 3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 6名

副委員長	戸田 康一郎
委員	中山 裕二
委員	石井 靖子
委員	守田 有理子
委員	赤木 由美
委員	山崎 靖

欠席委員数 1名（リポート代読）

### 放送事業者側出席者名

代表取締役社長	和 氣 靖
常務取締役	笹 栗 哲 朗
総合編成局長兼ラジオ局長	坂 井 剛
報道情報局長	柴 田 高 宏
ラジオ局 編成制作部長	渡 辺 浩 司
ラジオ局 編成制作部（プロデューサー）	乙 部 奈 瑠 美

番組審議会事務局長兼視聴者・広報室長	石 橋 聡
番組審議会事務局（視聴者・広報室）	松 永 俊 郎

#### 4. 議 題

- (1) ラジオ番組「めぐみのラジオ」  
　　<放送日> 6月6日(土) あさ7時30分～
- (2) 6月・7月 ラジオ・テレビ番組編成状況の報告
- (3) 5月 視聴者・聴取者応答状況の報告
- (4) その他

#### 5. 議事の概要

委員の意見(概要)

委員からは、

- 細谷めぐみアナウンサーの声のトーンやテンポ、話し方が非常に自然体で飾り気もなく、聴きやすかった。話題も身近で親しみやすく、土曜日の朝にふさわしい番組だと思った。
- 細谷アナウンサーは、テレビの人あるいはどちらかと言えば報道系で硬い人というイメージでいたが、今回のラジオ番組では少しくだけた話し方もして、多彩な一面を知ることができた。土曜日の朝から4時間半の生放送は大変だろうが、細谷アナウンサーの更なるステップアップを期待している。
- 「KBCシネマ1・2」では名作映画の上映が多いと思っていたが、「めぐみのウィークリーシネマ」のコーナーで新作も上映されていることを知れた。支配人の宮定さんによる映画「ハリエット」の背景説明も分かりやすく、今すぐ映画を見に行きたくなった。
- 細谷アナウンサーがテーマを考え自分の視点で意見を言う「めぐみのメ!(目)」のコーナーでは、「SNS ハラスメント」がテーマになっていたが、少し硬派でよいテーマだった。身近な人の話も踏まえて率直に話をする細谷アナウンサーには好感を持てた。
- 「めぐみの長浜1丁目クッキング」では季節に応じた簡単で作りやすい料理を紹介していたが、そのレシピをホームページでも公開する取り組みは大変良いものだった。  
　　などの評価を頂きました。

また、気になる点や望むこととして、

- 番組名から細谷アナウンサーの個性あふれる内容を期待したが、あまり人物像が見えてこなかった。番組名を「めぐみのラジオ」とするのであれば、細谷アナウンサーの熱い思いや共有したい思いを伝える必要もあるのではないか。
- 生田斗真さん結婚の話題では、細谷アナウンサーの「悔しさ」がにじみ出ている、親しみを感じたリスナーも多かったのではないか。同様に、他の話題でももう少し個性や感情を出して欲しかった。
- 細谷アナウンサーはテレビやニュース報道番組の人というイメージが強い。ラジオを経験させることで、アナウンサーの育成や経験を積ませる意図などあれば、社としての考え方を教えて欲しい。
- 各コーナーで、登場する出演者に対して、細谷アナウンサーが合の手を入れるパターンが繰り返されている印象を受けた。4時間半の番組をずっと聴くとすると、少し単調な印象を受けた。もう少しメリハリをつけて欲しかった。

- メッセージテーマの「オイニー」は「くさい」とか「嫌な」という悪いイメージが思い浮かぶ。テーマだけで面白くなさそうだと思われやしないかと心配したし、テーマの選定にはアナウンサーの意見も反映されているのか気になった。
- 番組内で紹介する楽曲があまり土曜日の午前中のラジオ番組には合っていないように感じた。細谷アナウンサーが選曲しているのなら、細谷アナウンサーなりのコメントも欲しかった。

などの批評や提言を頂きました。

これらに対して、担当者からは、

- 細谷アナウンサーは明るくて親しみやすい人物なので彼女の人となりを出すには、2〜3人の出演者で番組を展開するよりも、パーソナリティー1人が望ましいと考えた。ただし、「人物像が見えてこなかった」や「もっと個性を出すべき」とのご指摘は真摯に受け止め今後の演出に生かしたい。
- 細谷アナウンサーは報道系で硬い人というイメージが強いとの意見もあったが、ラジオはこれまで本格的に取り組んだことがなく、スキルアップも考えた上での人選。まだ途上だが、4時間半の生放送番組に向き合ってもらっている。
- メッセージテーマは、リスナーが番組に参加（メール・ファクス）しやすいテーマを細谷アナウンサーと番組スタッフで決めている。他にも「追う恋愛、追われる恋愛」結局どちらが幸せなのかと言うテーマにしてみるなど、土曜日の朝だからこそその「ゆるさ」でテーマを決めている。
- 楽曲選曲は、番組のメインターゲットが30代以上の女性なので、1990年代から2000年代前半にリリースの曲を選曲。懐かしい曲、BGMとしていい意味で聴き流せるような選曲を心掛けている。
- コロナ禍でラジオの良さが見直されている。テレビでは報道色が強いコロナ関連の話題が多くなっているが、だからこそラジオはリスナーの気持ちに寄り添える内容をお届けしたいと心掛けている。

などの説明をしました。